



三小だより

教育目標

かしこい子
やさしい子
たくましい子

栃木第三小学校だより

令和4年

3月23日発行

文責 学校長[服部]

栃三小第93回卒業式

3月18日(金)うららかな春の日差しの中、栃木第三小学校第93回卒業式を行いました。少し大きめの真新しい中学校の制服を身にまとい、緊張した面持ちで式に臨んでいました。69名の卒業生が、6年間の課程を修了し、立派な態度で卒業証書を受け取り、新しい学び舎に向かって巣立っていきました。



今年もコロナ禍のために、在校生は出席せず、また、来賓も呼ばず、御家族は児童一人に対し2名までという制約の中で実施しました。卒業生は、ともに過ごした在校生たちに見守られて卒業式を行いたい。在校生は、お世話になった卒業生を見送りたい。それぞれ強い思いはありましたが、安全を優先し、在校生不参加と致しました。ただし、

卒業生、在校生それぞれの思いが伝わるような卒業式にしようと相談してきました。在校生から卒業生へのメッセージは、卒業式前から、2階フロアに掲示してきました。卒業式当日も在校生の顔が分かるビデオメッセージによる「別れの言葉」を放映しました。在校生からの温かいメッセージ映像を見ている卒業生の表情は、とても嬉しそうでした。在校生の卒業生を祝福する気持ちは、卒業生の心に深く響いたことと思います。その言葉を受け、卒業生も順に、学校や在校生、そして今まで育ててくれた保護者に対する感謝の気持ちを伝えました。また、校歌斉唱は、式場で合唱することができないので、以前に録音した校歌を流しながら、在校生が今年1年間で行ってきた活動の写真をスクリーンに映しました。卒業生は、それぞれの学年の様子を見ながら、知っている子を探したり、自分たちもこんなことしたなと思い起こしたりしながら、心の中や小声で歌っていました。



あいにくの雨でしたので、体育館から校舎内を通り昇降口まで、6年生自身が運動会で演奏した鼓笛隊の音楽に合わせ、全職員で見送りました。



式辞の中でも話したことですが、自分の夢をもち続け、その夢の実現に向かって頑張る続ける69名の卒業生たちをいつまでも応援したいと思います。

お別れ式

今年も昨年同様感染症対策として密を避けるために、卒業式に在校生は参加しませんでした。その代わりに卒業式前日の3月17日(木)に、卒業生と在校生のお別れ式を行いました。在校生、卒業生それぞれの代表が、互いの思い出や感謝する気持ちを伝えました。



一部昨年と変更したのは、在校生から、お世話になった卒業生を近くで見送りたいという希望があり、見送りのときは、卒業生が在校生全員の間を通るように見送りルートを考え、卒業生を近くで見ながら見送りをしました。



短い時間でしたが、卒業生、在校生互いの気持ちが通じ合う心温まる式になりました。

6年生奉仕作業

3月4日(金)、6年生が昼休みを利用して、北校舎付近の水がたまりやすいところに、砂利を運び、整地してくれました。

砂利は重く、運ぶ距離も長かったのですが、手際よく作業してくれました。さすが6年生。頼もしくなりました。



本校ならではの教育

6年生ありがとう週間

2年前までは、「6年生を送る会」として全校で集会を行っていました。昨年から、密にならないように「6年生ありがとう週間」という形で、みんなが集まらないように5年生が中心となり、様々なことを企画して行っています。しかし、今年は、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が発出されていることで、室内外での共遊は中止することになりました。



ただし、様々な工夫を凝らし、6年生への感謝の気持ちを伝えました。「放送による6年生の紹介」「フロアーに掲示した各クラスからのメッセージ」「縦割り清掃班のメンバーによるメッセージカード」「5年生からの室内遊び道具のプレゼント」「オンラインで6年生と1年生が思いを伝え合った6年生にありがとうの会」など、様々な活動がありました。

6年生からは、お礼として手作り靴箱表示板をいただきました。



〈各クラスからのメッセージ〉



〈清掃班メンバーからのメッセージ〉



〈1年生との6年生にありがとうの会〉

鼓笛引継式

3月15日(火)に延期になっていた鼓笛引継式を行いました。しかし、まん延防止等重点措置が発出している中なので、6年生にとって最後の演奏でしたが、リコーダーや鍵盤ハーモニカのような吹く楽器は演奏できず、本来の形での演奏はできませんでした。リコーダーや鍵盤ハーモニカの代わりにキーボードやカスタネット



を使っていた演奏でしたが、第60代鼓笛隊である6年生の思いは、5年生に伝わったことでしょう。また、5年生にとって、いつもなら最初の演奏発表の舞台となる場でしたが、リコーダーや鍵盤ハーモニカの練習が全くできなかったため、演奏は



できませんでしたが、5年生の表情には、指揮杖や鼓隊の楽器を6年生の思いとともに受け取り、第61代鼓笛隊として頑張るぞという思いがみなぎっているようでした。今後練習を重ね、素晴らしい演奏を聴かせてくれることを期待しています。

三小では、学校をより良くしていこうと、5・6年生が中心となって委員会活動を行っています。4年生以下もその活動を知り、一緒に協力して、学校をより良くしていこうとする態度が大切です。そこで、6年生が、各委員会の活動の様子や仕事内容、お願いをタブレットを使って動画に撮り、下級生にオンラインを使ってお知らせしました。どの学年もタブレットの活用が上手になってきました。来年は、今の4・5年生を中心に、栃三小をさらに良くしていくために、みんなで力を合わせて生活しましょう。

委員会紹介

落語教室

本校の卒業生でもあり、「栃木落語の会」の代表をされている小林正男先生が大町に住んでおられます。私の前任校でも、子供落語教室として、熱心に指導していただきました。三小としても、せっかく地域に素晴らしい指導者がいらっしゃるの、伝統文化に触れ、表現力の育成にも繋がるので、来年度からクラブ活動の中に取り入れてみようということになりました。



落語がどのようなものか知らない子供たちも多いようなので、まずは落語を知ろうということで、来年度クラブに取り組む3・4・5年生に紹介するための「落語教室」を行いました。小林先生に宇都宮落語研究会の「森のむじな」という方を連れてきていただき、落語について簡単な説明をしていただき、子供でも理解しやすい小話として、「元犬」を聴かせていただきました。

3・4年生は直接聴き、残念ながら予定が付かなかった5年生は、ビデオに撮り、あとで見ることにしました。

